

2013年5月7日開催 第578回番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長、櫻井美幸副委員長、上田理恵子委員、神谷徹委員、佐藤卓己委員、佐藤友美子委員、東野博昭委員、若菜英晴委員

■ 毎日放送出席者

河内社長 松島専務 榎本常務 豊田取締役 河村取締役 梅本取締役 東取締役
立野コンプライアンス室長 岡田制作局長 田中プロデューサー

◆ 審議議題

テレビ番組「パテナの神様」(4月10日(水)放送分)について

◆ 審議事項

昨年11月にスタートしたテレビ番組「パテナの神様」(4月10日(水)23:48~24:59放送)について意見の交換をした。

各委員の主な意見は次の通り。

- * 本当の疑問は、ちょっと違う角度なんじゃないかと感じた。本来のコンセプトの「疑問解決」とは違うところで進んでいる。
- * うんちく話を若い人はあまり欲しがらないのじゃないか。若い人からしたら、そういうことを説教臭いと感じがしてしまうのじゃないか。ものを扱っているけど、やっぱり人というところが、この番組のおもしろいところ。
- * 関西らしい番組というのが率直な印象。素朴ながら、なるほどおもしろいと膝を打つような疑問をいかにうまく設定するかというのが鍵だ。
- * 中身がおもしろい時は気にならないが、つまらないと、スタジオではしゃいで、芸人が多過ぎるのも気になる。全体が宣伝じゃないのかなという印象を受けた。
- * 高額商品を買うのがどういう客層なのか、どのぐらいの頻度でこういうものが売れるのかといったことを知りたい。流通のプロセスを知りたいというのが、おそらく視聴者の大方の考えだ。
- * 取り上げるテーマは、ターゲットとしている年代が本当に知りたい、「そうそう」と思うテーマを選びを。

* やっぱりテーマ設定がすごく上手で、スタッフが丁寧に取材をして情報を集めているのが伝わってきて、毎回見ていると面白い。

* バラエティー番組を見ていると感じるが、結局、成功するかどうか、長持ちするかどうかというのは、アイデア勝負ということに尽きる。

以上